

令和3年度第2回文化財保護審議会 会議録

- 1 日時 令和3年6月17日（木）午後5時～6時
- 2 場所 郷土資料館「けやき館」体験学習室
- 3 出席者 会長 平山 和治
副会長 塩島 清志
委員 会田 宏、池谷 功、大久保 伴季、
久保田 吉範、高橋 公江、古川 嘉勇、
渡辺 和俊
事務局 町田 図書館長、上出文化財担当主査、
谷 亀 図書係主任、北爪 副館長
- 4 欠席者 川鍋 悦子
- 5 議題 (1) 視察研修について
(2) 登録文化財について
(3) 郷土資料館事業について
(4) その他
- 6 傍聴者 なし
- 7 配布資料 次第、資料1～2

8 会議内容

開会

会長挨拶

議題（1）視察研修について

事務局 資料1により説明。

平山会長 研修担当の委員だが、会田委員と池谷委員にお願いしたい。

議題（2）登録文化財について

事務局 「狭山茶手もみ製法」の登録文化財への登録について、保存団体の意向もあり登録へ向けて動き始めること、石造文化財の登録文化財への登録に向け、対象や登録方法の整理・研究に着手することを説明。

平山会長 手もみの「技術」が登録の対象となる。

久保田委員 技術のレベルではなく、「技法」そのものということ。継承している保存団体を特定する必要がある。

事務局 東京狭山茶手もみ保存会が該当すると思われる。

平山会長 石造文化財については、前々から話が出ていたことでもある。

久保田委員 石造物は信仰の対象になっているものもある。また、所有者がはっきりしていないものもあるため、慎重に進める必要がある。

池谷委員 東京だるまについても、今後登録を考えてはどうか。

事務局 相手方の意向もあるが、折を見て制度の話をしたい。

議題（３）郷土資料館事業について

北爪副館長 ※郷土資料館事業について説明

議題（４）その他

事務局 瑞穂ケーブルにおいて、お囃子６団体及び箱根ヶ崎獅子舞保存会のインタビューを行い、可能であれば演奏（演舞）を撮影、放送する計画があり、調整を進めていることを報告。

平山会長 総合文化祭の時に獅子舞の展示を行ってはどうか。取組みを継続していくことが必要である。

閉会